

俳句を読んで思いうかぶように合うものを、ア・イ・ウからえらびましょう。

① 菜の花や 月は東に 日は西に

よさぶそん
与謝蕪村

いつごろのようすですか。

ア あさ
朝

イ ひる
お昼

ウ ゆうがた
夕方

こたえ

② 古池や 蛙飛びこむ 水の音

まつおばしろう
松尾芭蕉

まわりはどんなようすですか。

ア しんとしている

イ にぎやかにさわいでいる

ウ かぜ つよ
風が強くふいている

こたえ

③ いくたびも 雪の深さを 尋ねけり

まさおかしき
正岡子規

さくしゃ
作者はどこにいますか。

ア ゆき なか ある
雪の中を歩いている

イ いえ なか そと で
家の中にいて外に出られない

ウ ゆき みなみ くに
雪のない南の国

こたえ

④ 五月雨を あつめて早し 最上川

まつおばしろう
松尾芭蕉

かわ
川はどんなようすですか。

ア みず すく なが
水が少なく、ゆっくり流れる

イ と
こおって止まっている

ウ みず なが
水がふえて、いきおいよく流れる

こたえ

